

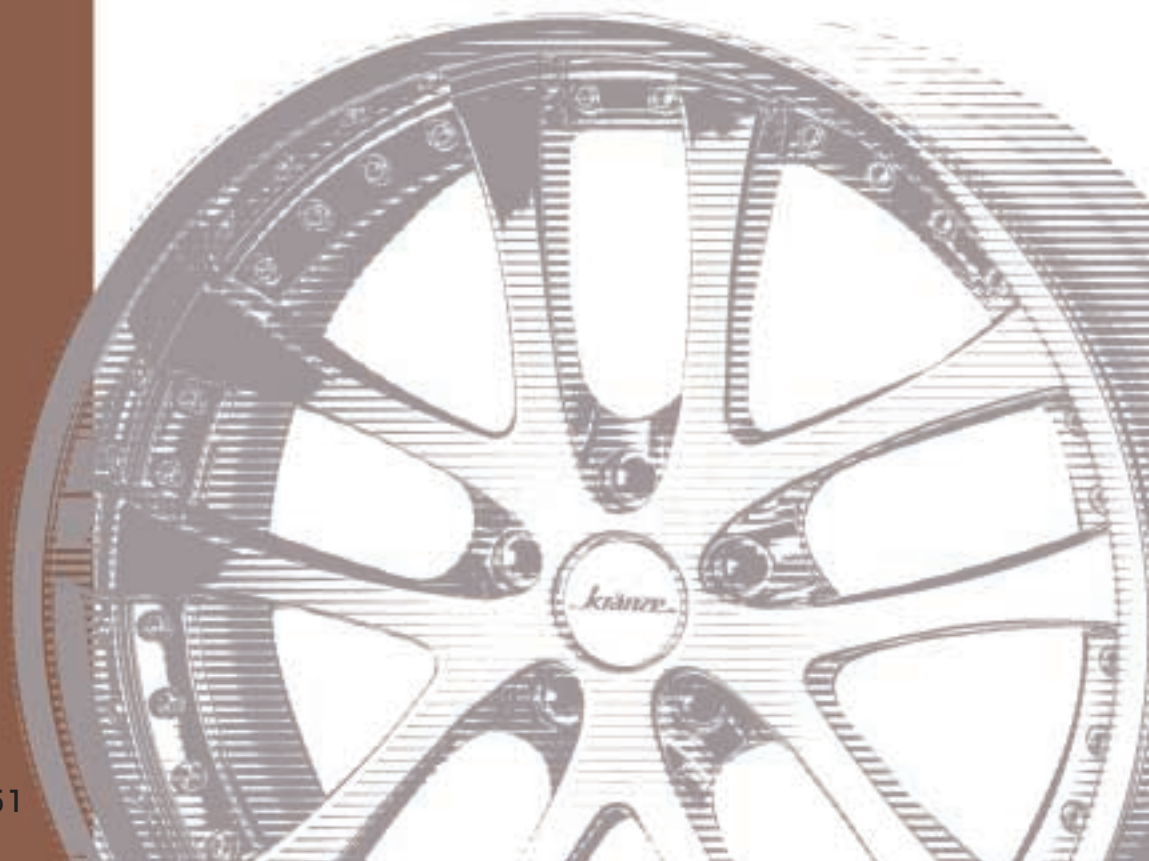
40th

第40期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

weds

株式会社ウェッズ



証券コードNo.7551

車と社会の未来を グローバルに創造する



CONTENTS

株主の皆様へ.....	2
中間決算ハイライト (連結)	3
第40期中間期の営業概況 (連結).....	4
中間連結財務諸表.....	5
経営課題	7
TOPICS 1	8
TOPICS 2	9
会社の概要・株式情報	10

●株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご支援・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて第40期中間決算業績についてご報告申し上げます。当中間期における我国経済は、デジタル家電販売の増勢や中国向け輸出拡大等により景気は回復して、設備投資と個人消費が持ち直すと共に雇用情勢の改善も進みました。

しかしながら、当社が属する自動車用品のアフターマーケットでは、景気の回復感はなく需要動向は前年より低調と懸念されるような状況で推移しました。

このような経営環境下、当社は年初に掲げた売上高と利益目標を第1四半期経過時点で下方修正しましたが、当中間期の連結業績は次ページ以降に記載の通り、概ね修正計画通りの結果となりました。

なお昨年10月1日付にて流通事業本部を分社化して新設しました株式会社バーデンも軌道に乗りつつあります。

今期は創業40周年でもあり、新たな飛躍へのステップと位置付けて経営改革にチャレンジ中であり、将来にむけ磐石な経営基盤を構築できるよう商品開発強化、営業総合力強化、商品管理徹底等経営諸施策を鋭意推進して参ります。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

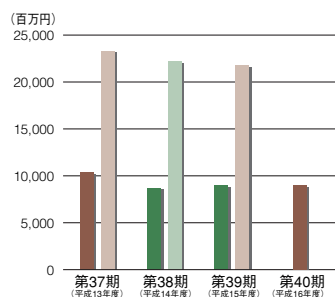
代表取締役社長 川口 修

● **中間決算ハイライト (連結)** ※第38期及び第39期中間期は単体決算です。

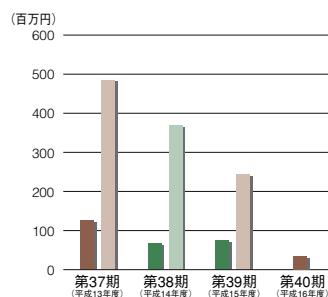
40th

連結 ■ 中間 ■ 通期
単体 ■ 中間 ■ 通期

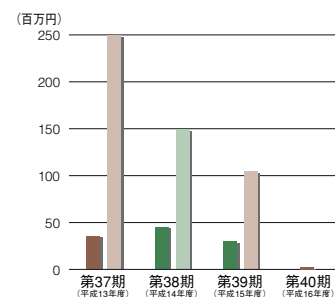
売上高



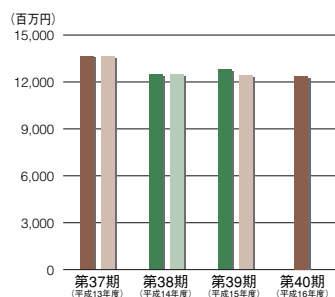
経常利益



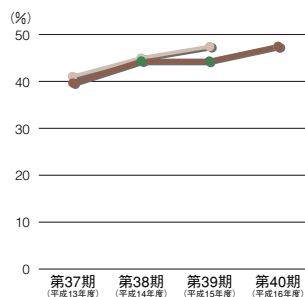
中間(当期)純利益



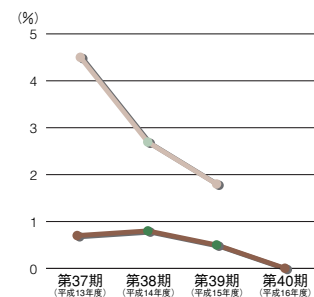
総資産



株主資本比率



株主資本利益率



項 目	第37期 (平成13年度)		第38期 (平成14年度)		第39期 (平成15年度)		第40期 (平成16年度)	
	上半期 連 結	通 期 結	上半期 単 体	通 期 単 体	上半期 単 体	通 期 結	上半期 連 結	通 期 結
売上高 (百万円)	10,329	23,290	8,681	22,136	8,918	21,746	8,896	-
営業利益 (百万円)	63	353	△11	350	28	326	△47	-
経常利益 (百万円)	126	484	67	369	75	244	35	-
中間(当期)純利益(百万円)	36	249	45	149	30	105	1	-
総資産 (百万円)	13,665	13,610	12,489	12,490	12,775	12,406	12,366	-
株主資本 (百万円)	5,393	5,623	5,528	5,610	5,653	5,877	5,812	-
株主資本比率 (%)	39.5	41.3	44.3	44.9	44.3	47.4	47.0	-
株主資本利益率 (%)	0.7	4.5	0.8	2.7	0.5	1.8	0.0	-

●平成15年10月1日付で、流通事業本部(小売事業部・携帯電話代理店事業部・開発営業部)を子会社(株)バーデンに分社化したので、第39期に連結決算が復活しました。

●第40期中間期の営業概況（連結）

当中間期の概況

当中間期における我国経済は、デジタル家電販売の増勢や中国向け輸出拡大等により景気は回復して、設備投資と個人消費が持ち直すと共に雇用情勢の改善も進みました。

しかしながら、当社が属する自動車用品のアフターマーケットでは、景気回復感はなく需要動向は前年より低調と懸念されるような状況で推移しました。

かかる状況下、当社は年初計画に掲げた売上高と利益目標を第1四半期経過時点で下方修正しましたが、全力を挙げて業績確保に努めた結果、修正計画の目標値は概ね達成しました。

これらの結果、当中間連結会計年度の業績は、売上高8,896百万円、経常利益35百万円、中間純利益は1百万円になりました。当中間期の設備投資は532百万円であり、当該資金のうち高齢者複合福祉事業500百万円については銀行借入金により、他は自己資金により充当しております。

通期の見通し

日本経済は、好調な企業業績により設備投資が復活し個人消費も堅調に推移しており回復基調が続くと見込まれていますが、一方で原価高等によって輸出環境が悪化し景気がスローダウンする懸念もあります。

自動車用品アフターマーケットの販売動向としては、下半期も低調な需要が続き暖冬の予報もあるため販売競争の更なる激化が見込まれます。

こうした環境下、当社は今期の創業40周年を新たな飛躍へのステップと位置付けて経営改革にチャレンジ中であり、高中級アルミホイールを中心とした商品開発の強化、営業総合力強化による重点商品拡販、商品管理徹底による在庫効率改善、会社の活性化等経営諸施策を鋭意推進して参ります。

これらを踏まえた通期の連結業績見通しは、売上高22,000百万円（前年比1.1%増）、経常利益270百万円（前年比10.6%増）、当期純利益135百万円（前年比28.5%増）を見込んでおります。

● 中間連結財務諸表 ※第38期及び第39期中間期は単体決算です。

中間連結貸借対照表 (要約) (単位: 百万円)

科目	第40期中間 平成16年9月30日現在	第39期中間 平成15年9月30日現在	第39期 平成16年3月31日現在
(資産の部)	連結	単体	連結
流動資産	8,401	9,323	8,760
現金・預金	737	909	539
受取手形及び売掛金	3,281	3,001	4,363
商品	3,530	4,279	2,736
繰延税金資産	143	218	152
その他	729	964	989
貸倒引当金	△21	△50	△21
固定資産	3,959	3,451	3,645
有形固定資産	2,402	2,051	2,045
建物・構築物	802	799	835
土地	1,019	1,019	1,019
建設仮勘定	511	—	11
その他	69	232	178
無形固定資産	25	35	28
投資その他の資産	1,531	1,364	1,572
繰延税金資産	13	—	10
その他	1,550	1,396	1,593
貸倒引当金	△32	△31	△32
繰延資産	5	—	—
資産合計	12,366	12,775	12,406

科目	第40期中間 平成16年9月30日現在	第39期中間 平成15年9月30日現在	第39期 平成16年3月31日現在
(負債の部)	連結	単体	連結
流動負債	4,308	5,276	4,733
買掛金	1,889	1,646	1,081
短期借入金	1,612	2,650	2,410
その他	807	979	1,242
固定負債	2,245	1,844	1,795
長期借入金	1,762	1,425	1,325
退職給付引当金	273	266	258
役員退職慰労引当金	160	131	145
繰延税金負債	32	—	48
その他	16	22	17
負債合計	6,554	7,121	6,528
(資本の部)			
資本金	852	852	852
資本剰余金	802	802	802
利益剰余金	4,078	3,943	4,125
その他有価証券評価差額金	78	55	97
自己株式	△0	△0	△0
資本合計	5,812	5,653	5,877
負債・資本合計	12,366	12,775	12,406

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (要約) (単位：百万円)

科目	第40期中間	第39期中間	第39期
	平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
	連結	単体	連結
売上高	8,896	8,918	21,746
売上原価	7,178	7,202	17,520
売上総利益	1,718	1,716	4,226
販売費及び一般管理費	1,765	1,688	3,899
営業利益	△47	28	326
営業外収益	99	73	192
営業外費用	17	26	274
経常利益	35	75	244
特別利益	27	—	—
特別損失	4	—	40
税金等調整前中間(当期)純利益 (税引前中間純利益)	58	75	204
法人税、住民税及び事業税	40	61	47
過年度法人税、住民税及び事業税	12	—	—
法人税等調整額	3	△16	51
中間(当期)純利益	1	30	105

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位：百万円)

科目	第40期中間	第39期中間	第39期
	平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
	連結	単体	連結
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	993	426	554
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△413	△111	△248
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△382	△152	△515
IV 現金及び現金同等物の増減額	197	161	△208
V 現金及び現金同等物の期首残高	539	748	748
VI 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	737	909	539

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

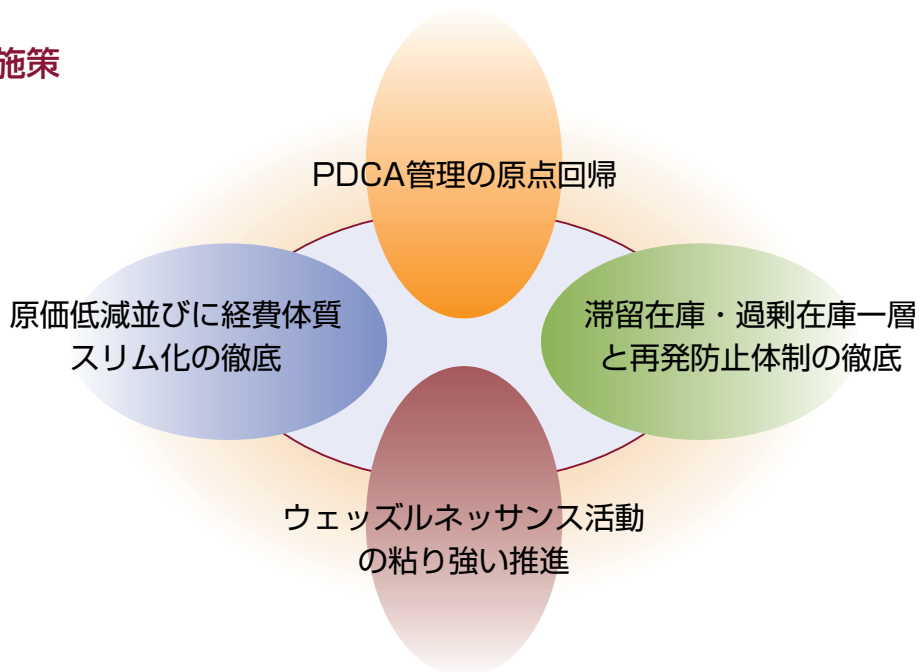
連結経営計画

(単位：百万円)

	当初		修正後
売上高	22,800	→	22,000
経常利益	385	→	270
当期純利益	190	→	135

今期の創業40周年を新たな飛躍へのステップと位置付けて経営諸課題に取り組み中ですが、自動車用品業界の市況が予想外に悪化したことなどから第1四半期経過時点で業績予想を下方修正。

施策





オニクス 浜松インター店 を開設



新規事業の一環として車そのものの販売を考えておりましたが、この度全国で500店以上を展開するオニクスに加盟し、本年7月1日に東名高速浜松インター近くに「浜松インター店」を実験店として開設しました。オニクス店ではどのメーカーの車も取り扱っていることに加え、独特のローンシステムを購入手段の一つとして採用することにより、新車が月々手頃な支払額で乗れるとユーザーから高い評価を得ています。

GT選手権第2戦にして ウェッズスポーツセリカ 早くもクラス優勝！！



今年5月宮城県スポーツランドSUGOで行なわれた全日本GT選手権第2戦で早くもクラス優勝獲得！！予選を二位で通過し、決勝では強豪チームを抑え栄えある優勝を勝ち取りました。

トップドライバーである青木孝行選手と、今話題のNEWモータースポーツ「D1グランプリ」で活躍中の



谷口信輝選手との素晴らしいチームワークで、今年こそは総合優勝を獲得することと思います。なおレース結果やオリジナルパーツの説明はウェッズオフィシャルホームページで随時掲載中です。

様々なモータースポーツで活躍するウェッズスポーツ。オリジナルアルミホイールをはじめ、レースで培われた技術とノウハウで今後も様々なGTパーツを市場に投入していきます！

GTパーツ販売促進施策 「ウェッズサマーGT キャンペーン2004」を実施！！

7～8月のボーナス商戦期に向けGTパーツ（チューニングパーツ）の販売促進施策を目的とした「ウェッズサマーGTキャンペーン2004」を実施！取引先の商流をウェッズに切り替える事を目的とした「販売店のシェアUPキャンペーン」と、弊社重点販売メーカー商品の販売促進を目的とした「販売強化品目キャンペーン」。

低迷してるGTパーツ市場にて、この様な取引先様を飽きさせない独自のアイデア施策を実施することにより、売上に貢献しています。

来春「東京オートサロン 2005withNAPAC」 展示会に出展！！

新春に毎年千葉県幕張で行なわれる「東京オートサロン2005withNAPAC」に出展決定！

新製品の発表は元より、春から開催いたします「ウェッズスプリングキャンペーン2005」のプレス発表、取引先様を招待した商談会など様々な企画を行ない、オリジナルブランドの更なる確立、販売促進活動に繋げて行きます。

会社概要

商号	株式会社ウェッズ WEDS CO.,LTD.
本社	東京都大田区大森北1-6-8 東伸24大森ビル6階
設立	昭和40年10月12日
資本金	8億5,275万円
従業員数	133名
業務内容	自動車用アルミホイール・スチール ホイールを中心とした自動車部品・ 用品の販売

役員

取締役会長	上坂良夫
取締役社長 (代表取締役)	川口修
常務取締役	谷越時義
取締役相談役	永井秀哉
取締役	加藤寛夫
取締役	大村正夫
取締役	畑井勇喜雄
取締役	山口義弘
取締役	伊澤秀
常勤監査役	井上正明
常勤監査役	川崎史博
監査役	清水延能

※取締役加藤寛夫氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める資格要件を満たす社外取締役であります。

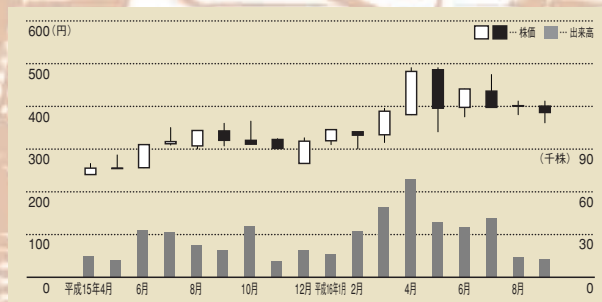
※監査役井上正明氏及び清水延能氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式情報

- 会社が発行する株式総数 ……………17,780,000株
- 発行済株式総数……………4,445,000株
- 株主数 ……………654名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
石原勝成	320,159	7.20
株式会社UFJ銀行	222,000	5.00
ウェッズ従業員持株会	138,210	3.11
碧海信用金庫	127,000	2.86
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
根津昭	91,700	2.06
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野肇	60,500	1.36

■ 株価推移



株主メモ

- 決 算 期 3月31日
- 配当金受領株主 3月31日
確 定 日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。
- 定 時 株 主 総 会 毎年6月
- 株主確定基準日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
- 株 式 名 義 書 換
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社
- 同 事 務 取 扱 所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
(お問合せ先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (証券代行事務センター)
電話03 (3323) 7111 (大代表)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記の中央三井信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話 ☎ 0120-87-2031

ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都太田区大森北1-6-8 東伸24大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>

